

『罪と罰』主要登場人物



**ラスコーリニコフ (ロジオン・ローノヴィチ・ラスコーリニコフ)** ……ロージャの愛称で呼ばれる。法学を専攻するが、学費滞納で大学から除籍。ペテルブルグの粗末なアパートに住む。  
**プリヘーリヤ** ……ラスコーリニコフの母。故郷で年金暮らしをしながら、息子にたえず気を配る。  
**ドワーニャ (IIアウドーチヤ)** ……ラスコーリニコフの妹。美しく芯が強い、果敢な女性。  
**マルメラードフ** ……居酒屋でラスコーリニコフと知りあう、飲んだくれの元役人。  
**カテリーナ** ……マルメラードフの後妻。良家出身で、気位が高い。極貧と病気にあえぐ。  
**ソーニャ (IIソフィヤ)** ……マルメラードフの前妻との娘。一家を救うため娼婦になる。  
**ラスミーヒン** ……ラスコーリニコフの友人。気のいい若者で、学費滞納のため大学は除籍。  
**ゾシーモフ** ……ラスミーヒンの友人。お洒落好きで、裕福な医者。  
**プラスコーヴィヤ** ……ラスコーリニコフの下宿のおかみ。愛称はパーシヤ、パーシエンカ。

Y100  
M60

DIC  
2397p

罪と罰

しおり (表面)

**ナスターシヤ** ……プラスコーヴィヤの下宿の女中・料理人。ラスコーリニコフの世話を焼く。  
**ルージン** ……ドワーニャの婚約者。ペテルブルグに出てきた法律関係の七等文官。  
**レベジャートニコフ** ……役人。空想社会主義者の青年。ペテルブルグでルージンを間借りさせる。  
**ニコジーム・フォミーチ** ……ラスコーリニコフが住む区の警察署の署長。  
**イリヤ・ペトロヴィチ** ……同じ警察署の副署長。「火薬中尉」とあだ名される激情的な正義漢。  
**ザメートフ** ……同じ警察署の事務官。ラスコーリニコフの借金の件で事情聴取にあたる。  
**ボルファイリー** ……予審判事。ラスミーヒンの縁戚で、ゾシーモフとも関わりがある。  
**アリオナ (・イウーノウナ)** ……金貸しの老女。義妹のリザヴェータとともに住む。  
**リザヴェータ** ……金貸し老女アリオナの義理の妹で、小売り商を営む。  
**ミコルカ (IIニコライ)** ……ペンキ職人。  
**スヴイドリガイロフ** ……ラスコーリニコフの故郷の「紳士」。ドワーニャを追いつづける。  
**マルファ** ……スヴイドリガイロフの妻。謎の死をとげる。  
**リッペヴェゼリ** ……マルメラードフ一家の下宿のおかみ。ドイツ人。

Y100  
M60

DIC  
2397p

罪と罰

しおり (裏面)